

僕は、最近歯医者に通っている。そして、あることに気付いた。

「お金、払っていないな。」と。そこでふと疑問に思った。僕の歯医者代は、どうなっているのだろうと。そこで、歯医者代について、母に聞いてみた。すると、「全部税金だよ。つまり大洲市の皆さんが払ってくれているんだよ」とのことだった。僕は、医療費について調べずにはいられなくなった。

僕たち中学生の医療費は、七割は保険で賄われ、三割は、自己負担ということを知った。僕は、自己負担の三割分を払っていないことに、つい最近、気付いたのだ。では、税金で払われているとはどういうことなのか。また分からなくなってしまった。すると、母が、「病院に行った時に見せる青いカードの裏を見てごらん」と言った。そこには、「この証は、保険医療機関等で医療費の自己負担額に対する助成を受けるための資格証です」と書いてあり、発行者は、「大洲市」となっていた。つまり、僕の三割負担は、大洲市が負担、つまり税金が使われていることが分かった。このことは、僕が税金に目を向ける大きなきっかけとなった。僕は、他にも、どのような税があるか調べてみることにした。調べてみたところ、大洲市は地方税で成り立っているようだ。地方税には、住民税、固定資産税、自動車税などがある。これらは、大洲市に住む人や企業が払っていて、大洲市民の税金で医療費や教育費なども負担していただいている。いろいろ調べてみたら親だけでなく、大洲市のみんなに育てられているのだな、ありがたいなと思った。

もう一つ気になっている税がある。それは、消費税だ。消費税は、何かを買うと必ず払っている税金だ。母が子供の頃は、消費税は、なかったそうだ。調べてみると消費税は、年金、医療費、介護、少子化対策に使われていることが分かった。確かに今、子供は少なく、高齢者が多い。これらに関係する問題を以前から耳にしたことがあった。選挙などでは、消費税を廃止するという考えを持った人もいたようだが、僕は必要だと思う。消費税がなくなってしまうと、これからの医療費などの負担を誰がするのかと不安になる。確かに、お菓子を買うたびに消費税分、お小遣いが減る。少し暗い気持ちになりはするが、みんなのために、自分のために、使われると考えると、これからも払わなければならないと思う。

日常生活の中には、たくさんの税があることに気付けた。自分が納めた税が、正しく、みんながよりよい生活を送れるようにするために使ってほしい。僕が今できることは、税について正しい知識を身に付けたり、毎日元気に学校生活を送ったりすることだ。みんなの力を借りながら生活していることに感謝して、過ごしていきたいと思う。